

日光市指定文化財
にょにん どん
女人堂

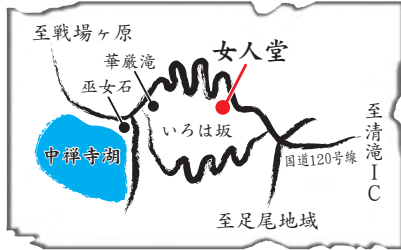


種 別 有形民俗文化財
指定年月日 昭和58年7月30日
【旧日光市指定】
所 在 地 日光市中宮祠

女人堂は、第一いろは坂の道路沿いにある小さなお堂で、江戸時代に建てられたものと考えられています。その昔、山岳信仰の霊場であった男体山や奥日光方面の山々は「御山」と呼ばれていました。明治時代初期まで、女性や牛馬の立ち入りが禁じられており、その境となっていた場所に建てられたのが女人堂です。女性はこの先に進むことができず、ここから山々を拝みました。中宮祠の大鳥居脇にある「巫女石」(市指定文化財)には、この禁制を破り御山へ立ち入った女性が石に変えられたものだという伝説が残っています。

また、立入禁止の区域に迷い込んだ女性が保護されたときには、人間ではなく動物であることを神々に示すためか、頭に草履を付けて四つんばいにして下山させたという逸話も残っており、禁制が厳しかったことを示しています。

女人堂は、日光における山岳信仰の名残をとどめる貴重な文化財といえます。



日光の美味しいレシピ 13



山ウドとホタテの炒め煮

ウドはウコギ科で、タラの木(タラの芽)の仲間です。春を代表する季節感のある野菜で、炭水化物やビタミン、ミネラル類が豊富に含まれています。新年度になり、なにかと忙しい春ですが、ウド料理を食べて旬を感じてみませんか。

※作り方※

- ①洗った山ウドは、皮付きのまま4mmくらいの斜め薄切りにし、水を張ったボールに1~2分入れた後、水を切る。水菜は3cmくらいに切る。
- ②中華なべ(またはフライパン)に油を入れ、種を取った唐辛子を入れ、ゆっくり温める。
- ③鍋に山ウドを入れ中火で透明になるまで炒めてから、ホタテを入れ強火で炒める。
- ④ホタテがふっくらしてきたらしょうゆをまわしかけ、水菜を入れ、全体をなじませる。
- ⑤器に取り、いりゴマと七味唐辛子をかけて出来上がり。

※ポイント※

唐辛子を使うことで、塩分が少なくても物足りなさを感じさせないようにしました。

提供：日光市地産地消推進協議会

●材料/4人分

山ウド…2~3本、小さめのホタテ…200g、水菜…1株、しょうゆ…大さじ2~3杯、油…大さじ2杯、唐辛子…1本、七味唐辛子…少々、いりゴマ…大さじ1杯

この料理を作ってくれたのは



けんもくかず 兼目 和子さん(土沢)

にっこう農村だより

稲作農家では、苗代しめ(米の種まき)や田起こし(耕起)が始まりました。

3月の人口と世帯数

	男	女	計	世帯数
今市地域	31,026人(-6)	31,985人(-15)	63,011人(-21)	22,532世帯(+7)
日光地域	7,649人(-8)	8,300人(-15)	15,949人(-23)	6,398世帯(-17)
藤原地域	4,960人(-18)	5,468人(-10)	10,428人(-28)	4,652世帯(-5)
足尾地域	1,408人(-5)	1,578人(-4)	2,986人(-9)	1,611世帯(-5)
栗山地域	924人(-2)	934人(-5)	1,858人(-7)	755世帯(-1)
日光市	45,967人(-39)	48,265人(-49)	94,232人(-88)	35,948世帯(-21)

※住民基本台帳による(3月1日現在) ※()内は前月比